

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名 北海道

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	稚内市立潮見が丘小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	3	2	1	14	19
児童数	73	66	64	50	91	76	1	421	

研究の概要

1. 研究主題

基礎基本を身に付け、主体的に判断できる子どもの育成

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

第5学年、第6学年の算数科(子ども一人一人の学習速度や学習スタイルに合わせた指導体制が作りやすく、また、評価結果を数値化しやすいため)

(2) 年次計画

平成14年度	テーマ	基礎基本を身に付け、主体的に判断できる子どもの育成
	仮説	個に応じた指導を充実し、基礎・基本の確実な定着を図ることにより、主体的に判断できる子どもが育成される。
平成14年度	研究内容・方法	(1) 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材開発 基礎基本の時間「ファイト15」における習熟度に応じた指導とドリル内容の改善 個別指導の時間の確保
		(2) 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善 TT指導における、T1教師とT2教師の綿密な打ち合せ時間の確保とT2教師の役割の明確化 少人数指導、専科+担任によるTT指導など、指導内容にあわせた学習形態や指導方法の工夫、改善
平成14年度		(3) 児童生徒の学力の評価を生かした指導の改善 通知票や指導要録と連動させた評価システムの確立 評価方法の研究深化と評価規準の改善 学力テストなどによる客観的な子どもの変容の把握

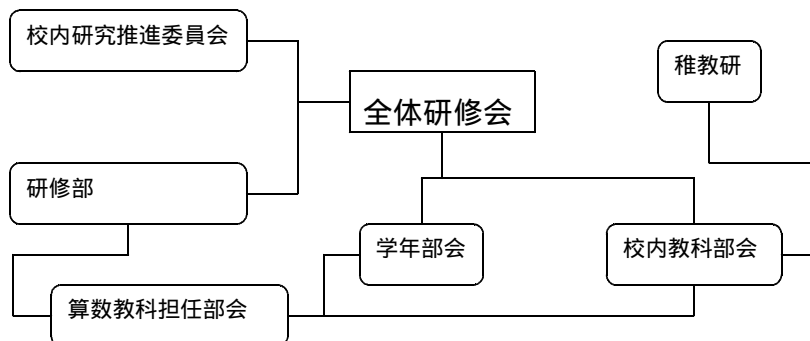
平成15年度	テーマ	基礎基本を身に付け、主体的に判断できる子どもの育成
	仮説	個に応じた指導を充実し、基礎・基本の確実な定着を図ることにより、主体的に判断できる子どもが育成される。
平成15年度	研究内容・方法	(1) 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材開発 「ファイト15」の指導方法・問題集の改善 〔改善の視点〕 【国語】 ・意欲が高く、二年間分の問題を一年で終わらせてしまう子どもたちへの教材開発 ・学びのペースが遅い子どもたちへの手立て 【算数】 ・問題数不足の解消 ・理解の速い子どもたちへの教材開発 ・学びのペースが遅い子どもたちへの手立て 放課後個別指導の時間の確保 日課表や年間行事予定などの改善をはかり、木曜放課後の個別指導の時間の確保に努めるようにする。
		(2) 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善 指導内容に応じた、TT指導、少人数指導などの指導体制づくり 3年生以上の算数科

	教科担任制の導入 「課題解決型の授業」の研修・研究の推進 (3) 児童生徒の学力の評価を生かした指導の改善 評価方法の実践的研究の深化と評価規準の改善 学力テストなどによる客観的な子どもの変容の把握
--	---

平成16年度	テーマ 基礎基本を身に付け、主体的に判断できる子どもの育成 仮説 個に応じた指導を充実し、基礎・基本の確実な定着を図ることにより、主体的に判断できる子どもが育成される。 研究内容・方法 (1) 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材開発 「ファイト15」の指導方法・問題集の改善 放課後の有効活用 家庭との連携による定着学習の習慣化 (2) 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善 指導内容に応じた、効果的なTT指導、少人数指導のあり方 「課題解決型の授業」の研修・研究の推進 (3) 児童生徒の学力の評価を生かした指導の改善 評価方法の実践的研究の深化と評価規準の改善 学力テストなどによる客観的な子どもの変容の把握
--------	--

### (3) 研究推進体制

#### 実践研究組織図



3年生以上の学年に算数の教科担任を一名ずつ配置し、その教科担任で算数教科担任部会を設けた。役割は以下のとおり。

- (1) 子ども達との関係づくりの構築  
 主要教科を学級担任外の先生がもつことから、学級担任外の先生と子どもたちとの関係づくりが一つの課題である。学級担任外の先生が、朝の会・給食・掃除指導などを通じて子どもたちとの関係づくりを意識し、構築していく。
- (2) 算数科のエキスパートとしての役割  
 算数科の授業づくりの中心としての役割を果たすことが基本的に求められる。学級担任と協力して、教科担任T1・学級担任T2、教科担任・学級担任による少人数指導、学年全体での少人数指導など指導内容にあわせた指導方法や指導体制について提案的な立場で算数科の授業づくりを進めていく。
- (3) 算数部屋の設置  
 学年児童会の教室がなくなり、個別指導で使う教室が不足している。そこで、5年生奥の教室を「算数部屋」とする。(20個ほどの机を入れている)  
 目的  
 個別指導の部屋で使用する  
 算数教科担任が教材づくりや教材研究を行う  
 少人数指導時に使用する

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

・ 少人数指導の有効場面について

- (1) 概念形成のために算数的活動を十分に行いたい場合  
大きな数でその大きさを実感させたり、面積や体積の概念を形成させるなど、算数的活動を十分に行いたい場合、少人数化することで個に応じた指導ができる。
- (2) 習熟の差が大きい場合  
計算の領域や量と測定での単位換算など、習熟の差が大きく出やすい場合は習熟度別の少人数指導が子どもたちの学ぶ意欲にもつながり、有効である。
- (3) 難しい内容のため理解に差が出やすい場合  
単位あたりの量や加減を伴う面積・体積計算、比など、子どもたちの理解に差が出やすい場合、少人数指導により学びを複線化することで一人一人の理解が深まる。
- (4) 考え方が複線化しており、それに応じた指導をしたい場合  
既習事項を元に解決を図る場合など、最初の課題は同じであるけれど、たどる道筋がちがうなど、その道筋ごとに分けて指導を行いたい場合は、課題別(解き方別)の少人数指導が効果的である。
- (5) 測定機器の使い方などを身に付けさせたい場合  
定規・コンパス・分度器・時計など測定機器の使い方を身に付けさせたい場合、少人数指導で、その子どもの実態に応じた指導が効果的である。

・ 習熟の程度に応じた指導について

算数の指導計画に習熟の時間を設定し、次の点に配慮して習熟の程度に応じた指導を行った。

- (1) 事前の手だて  
つまずきを予想したり、つまずきの実態を把握する。  
予想したつまずきから、コース分けを考える。(つまずきへの対応)
- (2) 指導体制について  
教材の系統性を踏まえ、つまずきの原因を把握する。  
つまずきの実態や原因の把握の方法を共通理解する。

・ 習熟度別学習時におけるグループの分け方について

グループの分け方について、次の4点に留意する必要がある。

教師が一方向的に割り振らない。  
子どもの興味・関心に配慮し、自分で課題や集団を選ぶことができるようにする。  
能力・適正にまったく合致しない場合は、適切な助言を行う。  
保護者に対しては、意図や内容を十分説明し、理解を得るようにする。  
子どもがコースを選択できるようにするためには、子どもに分かるようにグループ分けの意図や内容を説明し、グループ分けの判断基準についても示す必要がある。その上で選択の経験をさせていくことが大切である。  
初めて取り組むときは特に保護者への説明を丁寧に行うとともに、参観を呼びかけるなど理解を深める手だて講じる必要がある。

・ 少人数指導への流れ

右図の流れを基本に授業研究を行った。  
(授業研究の内容例は別紙資料1参照)

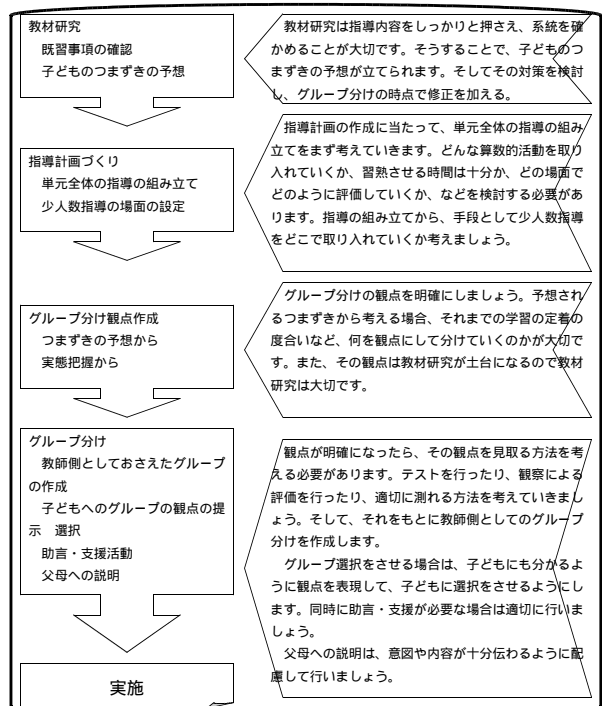
・ 授業研究について

(1) 成果

学年単元に単元の教材研究を進めたことで、教材研究の大切さを再確認できた。  
様々な形態の少人数指導を行ってきたが、どの学年の子ども達も意欲的に活動していた。  
目標に達しない児童に繰り返し指導を行うことで、指導内容の確実な定着が図られた。  
つまずきを予想したり、子どもの実態を把握をし、指導計画を弾力的に運用できた。

(2) 課題

子どもの実態に応じた指導過程を十分に検討すること。  
子どもが選択する場面をより多く設けること。  
教授伝達的な授業ではなく、算数的な活動を取り入れた授業をより一層工夫すること。



## 2. 今後の課題

### ・評価から読み取る

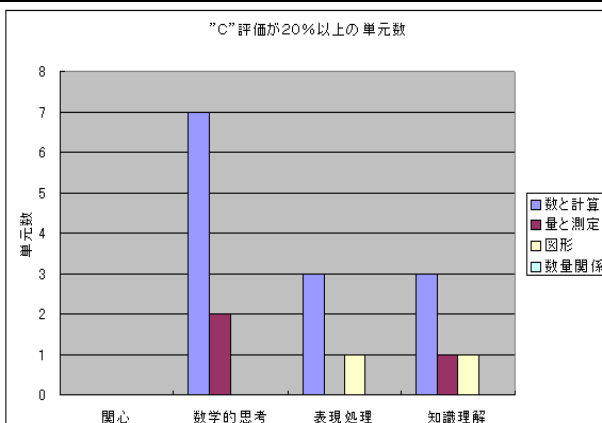
平成14年度3学期と平成15年1学期・2学期の算数の評価を整理すると次のような傾向が見られた。

興味関心のC評価は極めて少ない。

数学的思考のC評価が多い。特に概念形成に関する弱さがある。

知識理解では「数と計算」「量と測定」といった領域でC評価が多い。

各学年で、C評価が多かった単元について分析を行い、子どもをつまずきの原因は何かを学年ごとに検討する必要がある。



### ・来年度の指導計画に生かす。

子ども達をつまずきから、少人数指導を取り入れるべき単元について検討し、来年度の算数科指導計画の作成に生かす。

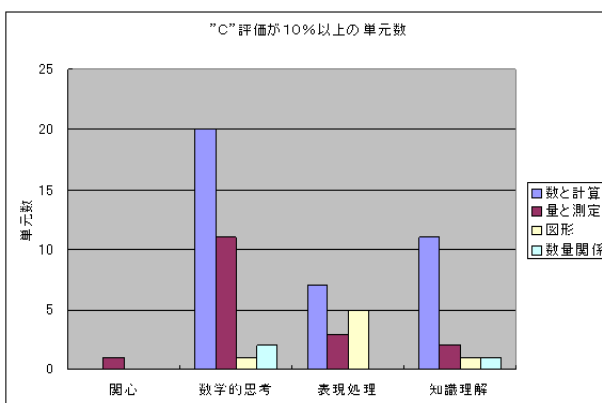
### ・その他の課題

#### (1) 算数的活動を多く取り入れる

数学的思考でのC評価が多いことから、授業での算数的活動を重視するなど、授業改善を図る。

#### (2) C評価を放置しない

C評価を放置しない仕組みや工夫が求められている。「もくもくファイト」(木曜日放課後)等を利用して再指導や再テストを行うなど、指導方法を工夫する。



## 学力等把握のための学校としての取組

### ・年1回の標準学力検査の実施

今年度は1月末に実施予定。結果について比較検討する予定である。

### ・通知票の評価結果の検討(別紙資料2参照)

学力の伸びを領域毎に正確に把握するために、単元ごとの評価結果を数値化し、その結果を指導に生かしている。

### ・評価方法の研究の深化と評価規準の改善

評価方法の研究を深化するために、各学期が始まる前に学年ごとに評価規準や評価方法についての話し合いが行われている。各学年で検討された評価方法は全教職員に公開している。(評価規準及び評価場面・方法例は別紙資料3参照)

## フロンティアスクールとしての研究成果の普及

### 1. 研究会等での普及

平成 14 年度

管内教職経験者研究協議会で実践発表  
管内教育課程研究協議会 全体会で実践発表

平成 15 年度

北海道立教育研究所 研修講座 学習指導 「算数」で実践発表  
管内 10 年経験者研修「個に応じた指導の実際」で助言  
管内教職経験者研究協議会で少人数指導の授業公開  
管内初任者研修の他校種交流で授業公開

### 2. 資料提供

発展的な学習や補足的な学習など個に応じた指導のための教材開発  
ファイト 15 問題集  
個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善  
TT 指導・少人数指導への取組み資料  
児童生徒の学力の評価を生かした指導の改善  
評価規準等、評価関連資料

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】  15 年度からの新規校  14 年度からの継続校

【学校規模】  6 学級以下  7 ~ 12 学級  
 13 ~ 18 学級  19 ~ 24 学級  
 25 学級以上

【指導体制】  少人数指導  T・T による指導  
 一部教科担任制  その他

【研究教科）  国語  社会  算数  理科  
 生活  音楽  図画工作  家庭  
 体育  その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】  有  無

【稚内市立潮見が丘小学校：資料】

資料 1 研究授業の実践例

指導計画

時数	主な学習活動	指導方法	指導体制	評価・留意点
	<ul style="list-style-type: none"> <li>両手を広げた長さを測る活動を通して、長さの単位「m」を知り、<math>1\text{m} = 100\text{cm}</math>を知る</li> <li>紐などで1mを作り、身の回りの1mのものを探す</li> </ul>	<p>一斉指導</p> <p>予想されるつまずき【1m = 100cmの感覚】 対策【100 数える活動を大切にす】</p> <p>つまずき【1mを探せない】対策【支援の必要な子どもとじっくり活動する】</p> <p>つまずき【mへの換算】 対策【目に見える教材へんしんテープの工夫】</p>	1 C 1 T	<p><b>診断的評価（テスト1）</b> cm、mmの単位の関係 長さの加法性や保存性についての理解</p> <p>《関心・意欲・態度》 測定する対象の大きさや目的に応じて、適切な単位やものさしを選択しようとし、また1mものさしなどを用いて測定しようとする。</p> <p>【ノート・観察】 B 測定する対象を見つけて、1mのものさしで測定しようとする。また、その長さをカードに書き留めることができる。 A 進んで色々なものの長さを測定し、カードやノートに正しく書きとめることができる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室の高さを <math>2\text{m}20\text{cm} + 70\text{cm} = 2\text{m}90\text{cm}</math> と求めることを通して、長さは複名数で表されている場合も加減計算ができることを知る。</li> <li>紙テープで1目盛りが10cmの3mのものさしを作り、色々なところの</li> <li>長さを測る</li> </ul>			<p><b>形成的評価（テスト2）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1mが100cmであることがわかる</li> <li>○ cm、mとcmによる測定ができる</li> <li>○ mとcmの単位換算がわかる</li> <li>○ 長さの加法適用問題ができる</li> <li>○ 長さの加減計算ができる</li> <li>○ 長さの減法適用問題ができる</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>長さの学習をまとめよう</li> </ul>	課題選択によるコース別学習	2 C 3 T	<p>個別指導と評価 どの部分の学習内容の定着が不十分であったかを把握し、具体的な指導内容を準備していく</p> <p>コース選択 形成的評価を元に観点を示し、教師や家庭で相談に乗りながら子ども達に選択させる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>テスト</li> </ul>		1 C 1 T	<p>《数学的な考え方》 大きな長さを表す必要から、mの単位のよさに気づき、対象に応じて単位を選ぶことができる。 【市販テスト（光文書院）：mm,cm,mの単位の換算の問題】 9割以上 A 6割以下 C 《表現・処理》 身のまわりのものの長さを、1mものさしを用いて測定したり、長さの加法、減法の計算ができる。 【自作テスト：長さの加法、減法】 9割以上 A 6割以下 C 《知識・理解》 長い長さを表す時はmの単位を用いればよいことや1mものさしのめもりの仕組みがわかる 【市販テスト（光文書院）】 9割以上 A 6割以下 C</p>

資料2 通知票からの評価結果

国語		1年生			(1年生)			2年生			(2年生)			3年生			(3年生)			4年生			(4年生)			5年生			(5年生)			6年生		
		1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期			
興味・関心・意欲	A	20%	35%	30%	42%	29%	33%	18%	21%	27%	32%	8%	21%	11%	6%	20%	4%																	
	B	80%	62%	62%	57%	71%	78%	78%	77%	73%	64%	92%	78%	85%	94%	73%	95%																	
	C	0%	3%	8%	0%	0%	2%	3%	2%	0%	4%	0%	1%	4%	0%	7%	1%																	
話す	A	36%	26%	23%	44%	25%	19%	14%	21%	22%	38%	30%	31%	23%	10%	9%	16%																	
	B	64%	67%	73%	53%	72%	74%	83%	67%	75%	51%	73%	66%	63%	71%	79%	79%																	
	C	0%	6%	5%	3%	3%	8%	3%	12%	3%	11%	7%	3%	14%	18%	12%	5%																	
聞く	A	46%	26%	35%	25%	9%	28%	34%	23%	25%	31%	30%	42%	28%	16%	24%	56%																	
	B	54%	61%	56%	56%	89%	67%	62%	63%	75%	60%	79%	58%	69%	84%	66%	37%																	
	C	0%	12%	10%	19%	2%	5%	5%	13%	0%	9%	1%	0%	3%	0%	10%	7%																	
書く	A	39%	20%	22%	25%	23%	31%	35%	25%	12%	18%	20%	7%	12%	15%	22%	12%																	
	B	61%	75%	48%	63%	75%	63%	62%	63%	85%	70%	89%	92%	68%	84%	69%	83%																	
	C	0%	4%	30%	12%	2%	6%	3%	12%	3%	13%	0%	1%	20%	1%	10%	5%																	
読む	A	42%	38%	44%	50%	8%	56%	25%	60%	79%	38%	46%	38%	11%	56%	36%	56%																	
	B	58%	55%	47%	46%	78%	36%	68%	35%	17%	55%	57%	60%	62%	42%	49%	43%																	
	C	0%	7%	10%	4%	14%	8%	8%	4%	7%	6%	2%	27%	3%	16%	1%																		
言語	A	64%	30%	56%	46%	11%	29%	8%	25%	46%	29%	26%	32%	10%	23%	28%	23%																	
	B	36%	64%	33%	46%	66%	43%	91%	73%	54%	64%	77%	62%	77%	76%	67%	68%																	
	C	0%	6%	10%	9%	23%	28%	2%	2%	0%	7%	1%	7%	13%	1%	5%	9%																	
漢字	A	74%	54%	61%	32%	43%	28%	50%	74%	32%	38%	39%	68%	54%	32%	48%																		
	B	17%	41%	22%	89%	29%	65%	40%	12%	48%	55%	56%	19%	27%	38%	20%																		
	C	7%	5%	16%	25%	28%	8%	10%	14%	20%	15%	6%	13%	18%	29%	32%																		

算数		1年生			(1年生)			2年生			(2年生)			3年生			(3年生)			4年生			(4年生)			5年生			(5年生)			6年生		
		1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期			
興味・関心・意欲	A	7%	39%	38%	35%	5%	24%	52%	33%	27%	45%	8%	12%	25%	1%	12%	33%																	
	B	93%	58%	59%	65%	95%	76%	46%	67%	73%	52%	92%	88%	74%	99%	88%	67%																	
	C	0%	3%	3%	0%	0%	0%	2%	0%	0%	4%	0%	0%	1%	0%	0%																		
数学的思考	A	64%	46%	47%	35%	11%	23%	31%	29%	20%	48%	52%	31%	37%	19%	15%	5%																	
	B	36%	48%	50%	53%	58%	49%	65%	63%	66%	38%	45%	63%	55%	72%	78%	83%																	
	C	0%	6%	3%	12%	31%	28%	5%	8%	14%	14%	3%	7%	9%	9%	7%	12%																	
表現・処理	A	68%	77%	68%	43%	38%	56%	63%	51%	26%	79%	53%	57%	46%	62%	35%	46%																	
	B	32%	20%	25%	46%	38%	38%	33%	34%	74%	17%	44%	41%	43%	34%	53%	46%																	
	C	0%	4%	7%	11%	25%	6%	4%	16%	0%	4%	3%	2%	11%	4%	12%	8%																	
知識・理解	A	76%	47%	69%	68%	22%	42%	58%	56%	59%	72%	49%	44%	45%	47%	43%	40%																	
	B	24%	27%	25%	25%	43%	45%	39%	37%	36%	23%	50%	54%	39%	51%	45%	56%																	
	C	0%	27%	6%	7%	35%	13%	3%	8%	5%	4%	1%	2%	15%	2%	11%	4%																	

教科	観点	単元・学習材名	評価標準																	
			1組				2組				学年									
			人数	割合			人数	割合			人数	割合								
算数	関心・意欲・態度	□数や立体図形に興味を持ち、進んで調べたり、問題を解こうとする	14	24	0	37%	63%	0%	11	26	0	30%	70%	0%	25	50	0	33%	67%	0%
		倍数と約数 倍数や約数について調べ、問題解決に生かそうとする	14	24	0	37%	63%	0%	11	26	0	30%	70%	0%	25	50	0	33%	67%	0%
		分数の大きさと足し算、引き算 異分母分数の加法、減法の計算のしかたを考えたり活用しようとする	14	24	0	37%	63%	0%	11	26	0	30%	70%	0%	25	50	0	33%	67%	0%
		立体 直方体や立方体を、辺や面の平行、垂直などの観点から考察していこうとする	8	30	0	21%	79%	0%	6	31	0	16%	84%	0%	14	61	0	19%	81%	0%
	数学的思考	□学習したことを生かし、見通しをもったり、筋道を立てて考え問題を解くことができる	3	32	3	8%	84%	8%	1	30	6	3%	81%	16%	4	62	9	5%	83%	12%
		倍数と約数 倍数、公倍数、最小公倍数、約数、公約数、最大公約数の見つけ方や用い方を説明できる	3	31	4	8%	82%	11%	3	27	7	8%	73%	19%	6	58	11	8%	77%	15%
		分数の大きさと足し算、引き算 A 分数の相等や約数、倍数の考えが、分数の通分、約分に適用できるよさをとらえたり、異分母分数の加法、減法の計算のしかたを進んで考えたり、工夫して計算しようとしていたりする	8	25	4	22%	68%	11%	10	20	7	27%	54%	19%	18	45	11	24%	61%	15%
		分数の大きさと足し算、引き算 A 自在に分数を小数に、小数を分数に変換することができる、その大小を表すことができる	6	29	3	16%	76%	8%	3	28	6	8%	76%	16%	9	57	9	12%	76%	12%
		分数の大きさと足し算、引き算 A 異分母分数の加法、減法の計算のしかたを、同分母分数や整数、小数の場合と関連づけて考え、それらを活用する問題を解くことができる	6	29	3	16%	76%	8%	3	28	6	8%	76%	16%	9	57	9	12%	76%	12%
		立体 A 面の形、辺や面の平行、垂直の関係などの観点から、直方体や立方体の特徴を見つけることができる。	12	24	2	32%	63%	5%	17	19	1	46%	51%	3%	29	43	3	39%	57%	4%
表現・処理	△倍数や約数を求めることができる	20	11	7	53%	29%	18%	25	7	5	68%	19%	14%	103	103	19	46%	46%	8%	
	△分数の通分、足し算、引き算ができる	14	24	0	37%	63%	0%	19	17	1	51%	46%	3%							
	倍数と約数 倍数、公倍数、最小公倍数、約数、公約数、最大公約数を求めることができる	20	11	7	53%	29%	18%	25	7	5	68%	19%	14%	45	18	12	60%	24%	16%	
	分数の大きさと足し算、引き算 A 異分母分数の加法、減法の計算のしかたを、同分母分数や整数、小数の場合と関連づけて考え、それらを活用する問題を解くことができる	14	24	0	37%	63%	0%	19	17	1	51%	46%	3%	33	41	1	44%	55%	1%	
	立体 A 直方体、立方体の展開図をかきことができる。	13	22	3	34%	58%	8%	12	22	3	32%	59%	8%	25	44	6	33%	59%	8%	
	立体 A 直方体、立方体の特徴をまとめたり、いろいろな展開図をかきことができる	13	22	3	34%	58%	8%	12	22	3	32%	59%	8%	25	44	6	33%	59%	8%	
知識理解	△辺や面の平行、垂直がわかり、立体の意味がわかる	17	21	0	45%	55%	0%	12	24	1	32%	65%	3%	90	127	8	40%	56%	4%	
	倍数と約数 倍数、公倍数、最小公倍数、約数、公約数、最大公約数の意味と求め方がわかる。	13	25	0	34%	66%	0%	13	20	4	35%	54%	11%	26	45	4	35%	60%	5%	
	分数の大きさと足し算、引き算 A 異分母分数の加法、減法の計算のしかたがわかる。	19	18	1	50%	47%	3%	16	19	2	43%	51%	5%	35	37	3	47%	49%	4%	
	分数の大きさと足し算、引き算 A 異分母分数の加法、減法の計算のしかたを、同分母分数や整数、小数の場合と関連づけて理解している	19	18	1	50%	47%	3%	16	19	2	43%	51%	5%	35	37	3	47%	49%	4%	
	立体 A 直方体や立方体の辺や面の平行、垂直など位置関係がわかり、角柱や円柱の概念を直方体や立方体と関連づけて理解することができる	17	21	0	45%	55%	0%	12	24	1	32%	65%	3%	29	45	1	39%	60%	1%	

# 資料3 評価場面と方法の例

## 国語科

単元・教材名	観点	評価規準	評価場面・方法
耳をかたむけよう	話す	話の組み立てを工夫し、事実と意見を区別して話している A聞き手の心に残るような言葉を使ったり表情や態度に変化をつけたりし、わかりやすく話することができる	【話の内容を聞き】 SW1Hを基盤しながら組み立てを考えるとすることができる A SW1Hの組み立てを考え、そこに自分の意見を加えて話することができる
	聞く	要点をメモし話し手の意図をくみ取ることができる A友達のスピーチの良さがわかり、具体的にそのよさを認める発言をしたりや感想を書いたり出来る	【テスト「耳をかたむけよう」】 200点満点中160点 A 200点満点中200点
美月の夢	意欲	物語に興味を示し、話し合いに参加している A意欲的に発言に取り組みノートやワークシートにも進んで書き込みをしている	【観察・ワークシート点検】 物語に興味を持つ感想が書かれており、話し合いにも参加している A 意欲的に発言し、ワークシートに自分の言葉で書き込みを積極的にしている
	読む	場面の様子や登場人物の心情をとらえながら読み取り意見をもつことができる A場面の様子や登場人物の心情を根拠をもって読み取り自分なりの感想や考えを持つ事が出来る	【テスト「美月の夢」】 表100点満点中80点以上 A 100点
自分の考えをはっきりさせて	意欲	身のまわりから題材を探し、自分の考えを伝えようとしている A身の回りの題材を積極的に探し、推敲を重ねながらよりよい作品を仕上げようとしている	【作文】 テーマにそった作文を書き、提出した。 A 作文を見直ししたり、推敲したりして、より良い作文にしようとしている。
	書く	作文を書くために題材を集めてメモに取り、整理することができる A事実や理由などを具体的によくなるような組み立てをメモを書くことができる	【組み立てメモ】 伝えたいことははっきりさせ、構成メモをつくること A 構成メモを事実や理由などが具体的にわかるようにつくること ができる
	書く	効果を考えて組み立てを工夫しながら作文を書くことができる A書き出しなど文章表現を工夫し、自分の意見をはっきりとつたわる作文をかくことができる	【作文】 伝えたいことが伝わるような作文を工夫して書くことができた A 文章表現を工夫して、自分の伝えたいことを伝える作文を書くことができた
意味をそえる言葉	言語	言葉にはさまざまなはたらきがあることを理解できる A副助詞や終助詞の意味や使い方を正確に理解している	【テスト「美月の夢」別紙テスト】 「美月の夢」裏40点+別紙テスト70点中80点 A 合計110点満点
	手話	詩の内容に興味を示し、意欲的に学習内容を確かめている A意欲的に発言に取り組みノートに進んで書き込みをしている	【ワークシート】 B…道二つの情景を考えようとしていた。 A…表現を細やかにとらえ、その表現を根拠に考えようとしていた。
漢字の練習①	言語	送り仮名の重要さに気がつくことができる A送り仮名の重要さに気がつき、正しく表記することができる	【テスト「美月の夢」別紙テスト】 「美月の夢」裏10点+別紙テスト30点中30点以上 A 合計40点満点
私たちを取りまく社会問題	意欲	自分のテーマを決めることができ、課題意識をもって取り組もうとしている Aテーマに沿ってくわしく調べたり、話し合いでたくさん意見を出そうとしている	【観察・ワークシート】 自分で課題意識を持ってテーマをきめることができた A テーマをもとに意欲的に調べようとしていた。
	話す	調査内容と提案という形で事実と意見を区別して発表することができる A発表用プリントや資料などを効果的に使いわかりやすく発表している	【発表】 自分のテーマを事実と意見を区別して発表することができた A 発表のためにプリントや資料を使いながらわかりやすい発表ができた
	聞く	友達の発表を自分の発表と比べながら聞き、他のグループに対しての意見をもた発表や質問が出来る A自分たちの調査内容とくらべながら聞き、他のグループに対しての意見をもた発表や質問が出来る	【ワークシート・観察】 友達の発表を聞き、意見や質問を考えることができた A 調査内容を聞きながら、意見や質問をすることができた
	書く	具体的な事実と自分の考えとのつながりをわかりやすく書くことができる A学習による自分なりの成果や変化を、読者に伝わる表現として書くことができる	【発表原稿】 発表原稿を書き、事実と意見を区別しながら表現することができた A 発表原稿を書き、より効果的に伝えるために資料などを用意して表現することができた。
	知	小数×小数の意味や計算のしかたを理解している A小数×小数の意味と計算の仕方を含めた計算と関連させてよく理解している	

## 算数科

単元名・学習材名	観点	評価規準	評価場面・方法
小数のかけ算	関	小数同士の場合でも、既習の整数の計算の数量関係などももとにして、乗法の式に表そうとしている A小数×小数の計算のしかたを、既習の整数の乗法計算や小数×整数の計算をもとに進んで考えようとしている	授業中の発言や意欲的に発表しようとする態度・家庭学習の内容・ノートの整理・プリントのやりきり 以上の4項目を細かく記録・評価し各単元の関心の評価とした。また関心の部分の評価は、各学担とも協議・検討した。
	考	整数の乗法計算と関連づけ乗数が小数の場合の計算の仕方を考えている A小数×小数の計算のしかたを、既習の整数の乗法計算や小数×整数の計算をもとに進んで考えている	市販のテスト 50点満点A 30点以下C
	表	小数×小数の計算をすることができる A小数×小数の計算を確認にすることができる	市販のテスト 45点以上A 30点以下C
	知	小数×小数の意味や計算のしかたを理解している A小数×小数の意味と計算の仕方を含めた計算と関連させてよく理解している	市販のテスト 50点満点A 30点以下C
小数のわり算	関	小数同士の場合でも、既習の整数の計算の数量関係などももとにして、除法の式に表そうとしている A小数÷小数の計算のしかたを、既習の整数の除法計算や小数÷整数の計算をもとに進んで考えようとしている	授業中の発言や意欲的に発表しようとする態度・家庭学習の内容・ノートの整理・プリントのやりきり 以上の4項目を細かく記録・評価し各単元の関心の評価とした。また関心の部分の評価は、各学担とも協議・検討した。
	考	整数の除法計算と関連づけ除数が小数の場合の計算の仕方を考えている A小数÷小数の計算のしかたを、既習の整数の除法計算や小数÷整数の計算をもとに進んで考えている	市販のテスト 50点満点A 30点以下C 手作りテストも評価の一部とした(9割以上正解のもの)
	表	小数÷小数の計算をすることができる A小数÷小数の計算を確認にすることができる	市販のテスト 50点満点A 30点以下C 手作りテストも評価の一部とした(9割以上正解のもの)
	知	小数÷小数の意味や計算のしかたを理解している A小数÷小数の意味と計算の仕方を含めた計算と関連させてよく理解している	市販のテスト 50点満点A 30点以下C 手作りテストも評価の一部とした(9割以上正解のもの)